

2-1 義務教育施設

義務教育施設ライフサイクル計画	・・・ P 8
今渡南小学校	・・・ P 9
土田小学校	・・・ P 12
帷子小学校	・・・ P 15
春里小学校	・・・ P 18
旭小学校	・・・ P 21
東明小学校	・・・ P 24
広見小学校	・・・ P 27
南帷子小学校	・・・ P 30
桜ヶ丘小学校	・・・ P 33
今渡北小学校	・・・ P 35
兼山小学校	・・・ P 38
蘇南中学校	・・・ P 42
中部中学校	・・・ P 45
西可児中学校	・・・ P 48
東可児中学校	・・・ P 51
広陵中学校	・・・ P 54

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設
-----	------	-----	--------

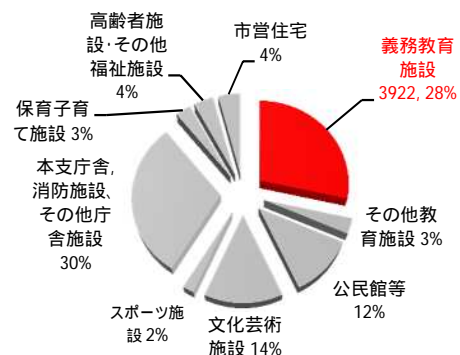
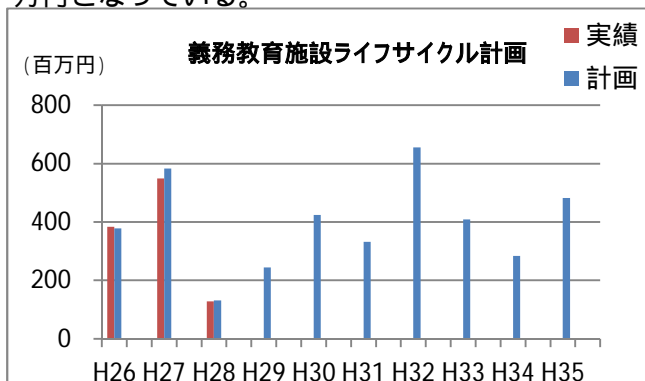
施設中分類ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績（百万円）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	合計
今渡南小		49		1							50
	14	45									59
土田小	69	100	21		1						191
	4	47	18								69
帷子小		66			3						69
	5	66									71
春里小		34		78		59					171
	3	34									37
旭小	10	44	30		85			59			228
	14	44	30								88
東明小		48		59		33	16			4	160
	2	48									50
広見小		46	5	5	1		145				202
	3	69	5								77
南帷子小		62	73	50		1	309				495
	6	62	73								141
桜ヶ丘小		47			4	236					287
	15	47									62
今渡北小		64	2	51			1		282		400
	3	64	2								69
兼山小		23				1					24
		23									23
蘇南中	95				330	1					426
	100										100
中部中	70						1			478	549
	70										70
西可児中	46					1	182		2		231
	49										49
東可児中	35						1	349			385
	38										38
広陵中	53							1			54
	57										57
工事費	378	583	131	244	424	332	655	409	284	482	3,922
	383	549	128								1,060
工事費計	3,922（実績費 1,060）										

施設分類に要する維持修繕費（-H35）

第一期アクションプラン期間内に、39億2,200万円が見込まれ、うち、これまでの実績費は10億600万円となっている。



施設名	今渡南小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	--------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	下恵土 3433-7	延床面積 (㎡)	6,196.67	当初建設費 (百万円)	315
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、プール付属棟は、長寿命化を検討する。 ・校舎、配膳棟、体育館は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部	11	1								
設備	3	1								
空調		45								
内装		2								
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断				1						
				→						
				→						
工事費	0	49	0	1	0	0	0	0	0	0
	14	45	0	0	0	0	0	0	0	0
工事費計	50 (実績費 59)									

校舎と体育館は、H21年度に耐震改修に併せて大規模改修を行っており、これを起点としたライフサイクル計画としている。H29年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H26年度・・・体育館（築40年目）の屋根改修工事を実施。

H27年度・・・プール棟は築30年目の大規模改修時期であったが未実施。全教室に空調を新設した。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

劣化診断・・・H29年度に実施予定。

裏面あり

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

5,000万円を見込む。（実績5,900万円）

施設名	土田小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	土田 4266-1	延床面積 (㎡)	6,459.36	当初建設費 (百万円)	680
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、プール付属棟は、長寿命化を検討する。 ・校舎、体育館は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
建築											
耐震											
外部	34	26	2								
設備	18 4	14	19 18								
空調		47 47									
内装	17	13									
自主点検			→								
12条点検	対象外の施設										
劣化診断					1						
				→							
			余裕教室の有効利用検討								
工事費	69 4	100 47	21 18	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
工事費計	191 (実績費 69)										

校舎と体育館は、H11、12年度に耐震改修に併せて大規模改修を行っているため、これを起点としたライフサイクル計画としている。H30年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H26年度・・・東棟（築35年目）、体育館（築38年目）はH11年度の大規模改修から15年目の補修時期であったが未実施。

H27年度・・・西棟（築37年目）はH12年度の大規模改修から15年目の補修時期であったが未実施。全教室に空調を新設した。

H28年度・・・プール棟については築15年の補修時期であったが未実施。

H28年度・・・トイレ大規模改修を実施。

裏面あり

自主点検・・・毎年実施する。
12条点検・・・対象施設ではない。
劣化診断・・・H30年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

1億9,100万円を見込む。（実績6,900万円）

土田小学校 全体ライフサイクル計画	建築年度 (体育館)	建築年度 (西舎)	建築年度 (東舎)	建築年度 (プール)
	昭和51年	昭和53年	昭和54年	平成13年

過年度 ← → 計画

単位:百万円

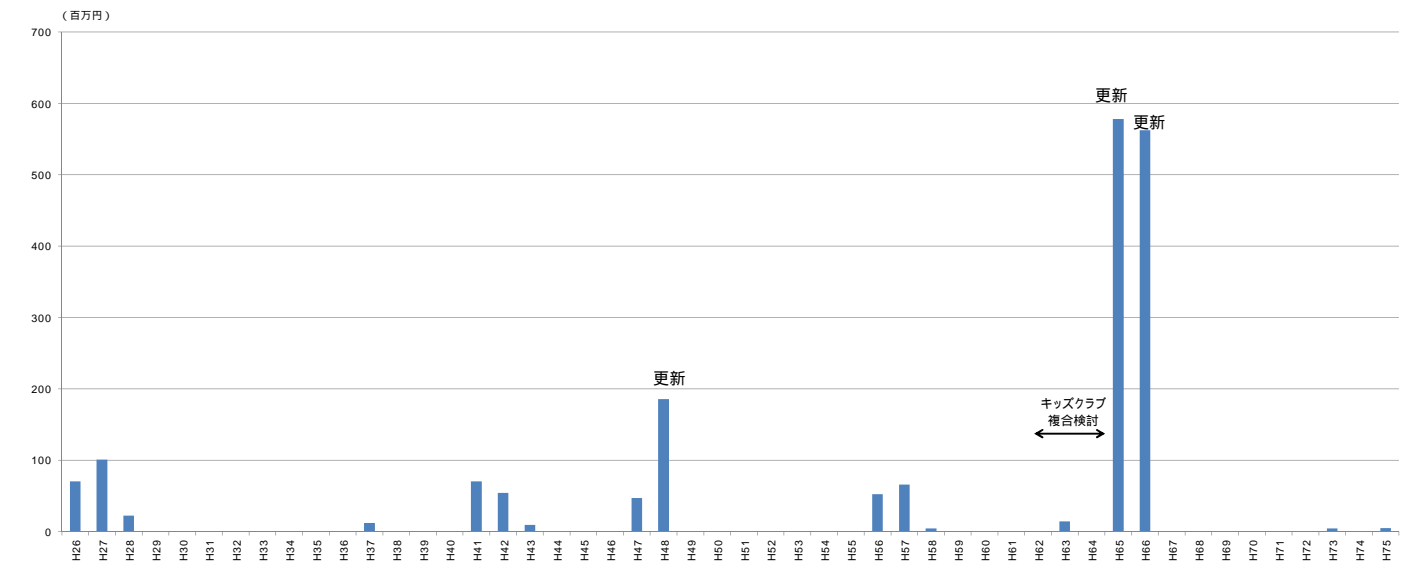
ライフサイクル計画	昭和														平成											第1期(H26-H35)					第2期(H36-H45)					第3期(H46-H55)					第4期(H56-H65)					第5期(H66-H75)																																																		
	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74
ライフサイクル実績	[実績データ]																																																																																															
部 位	[部 位 別 データ]																																																																																															
建設	[建設]																																																																																															
耐震	[耐震]																																																																																															
外部	[外部]																																																																																															
設備	[設備]																																																																																															
空調	[空調]																																																																																															
内装	[内装]																																																																																															
その他	[その他]																																																																																															
ライフサイクル計画 小計	[小計]																																																																																															
ライフサイクル実績 小計	[実績小計]																																																																																															
ライフサイクル計画 小計	[計画小計]																																																																																															
ライフサイクル実績 小計	[実績小計]																																																																																															
ライフサイクル計画 計	[計画計]																																																																																															
ライフサイクル実績 計	[実績計]																																																																																															
内修繕費	[内修繕費]																																																																																															

凡例 建築 耐震 大規模(過去) 補修(過去)	※ 複合化、集約・廃止 耐震診断、中性化試験 大規模(計画) 補修(計画)
--	--

・ライフサイクル計画に示された補修や更新の時期は、予算の裏付けの基に確定したものではなく、その時点での施設の劣化状況や財政状況及び、市民ニーズの変化によって内容が変わることがあります。

	(体育館)	(西舎)	(東舎)	(プール)
1 施設経過年数	40年	38年	37年	15年
2 60年目までの時間	19年	21年	22年	44年
3 75年目までの時間		36年	37年	59年
4 過去に要した費用	1,241	百万円	建築からH25年度までに要した額	
5 うち過去の維持修繕費用	520	百万円	4.のうち建築費用を除いた額	
6 ライフサイクル計画(第1期)	(69) 191	百万円	()はH26年度～H28年度実績 H26年度～H35年度までに要する額	
7 ライフサイクル計画(全体)	1,847	百万円	H26年度～H75年度までに要する額	
8 施設ライフサイクルコスト	3,088	百万円	建築からH75年度までに要する額	

ライフサイクル計画 小計	各年度に要する費用の合計。過年度においては、必要であったはずの費用を、平成26年度以降については、必要となる費用を示す。
過去のライフサイクル計画 小計	ライフサイクル計画 小計において、過年度分の各年度の合計をマネジメント基準年のH26年度をまでを示す。
ライフサイクル実績 小計	各年度に要した実績費の合計。平成28年度は、当初予算ベースで記載。
ライフサイクル実績 計	ライフサイクル実績 小計のマネジメント基準年(H26年度)までの合計。
内修繕費	ライフサイクル実績 計のうち、新築費や増築費などの建築費用を除いた費用。



施設名	帷子小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	東帷子 1047	延床面積 (㎡)	8,704.30	当初建設費 (百万円)	857
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input type="checkbox"/> 長寿命化 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input checked="" type="checkbox"/> 現状規模 ・南帷子小を集約することを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部					1					
設備	5									
空調		66 66								
内装					1					
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断					1					
									義務教育施設 (全体)の整備 方針の策定 →	
			余裕教室の有効利用検討 →							
工事費	0 5	66 66	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
工事費計	69 (実績費 71)									

校舎はH9年度に、プール棟はH15年度に、体育館はH23年度に耐震改修に併せて大規模改修を行っているため、これを起点としたライフサイクル計画としている。H30年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

- H27年度・・・全教室に空調を新設した。
- H30年度・・・プール棟(築41年目)はH15年度の大規模改修から15年目の補修を予定。
- 自主点検・・・毎年実施する。
- 12条点検・・・対象施設ではない。
- 劣化診断・・・H30年度に実施予定。

裏面あり

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

南帷子小の集約検討について

帷子小校舎はH50年度に南帷子小との集約を見込んだ規模で更新し、南帷子小が築60年となるH51年度に集約することを検討する。校舎更新の10年前にあたるH40年度から集約の検討に入る。

施設に要する維持修繕概算費

6,900万円を見込む。（実績7,100万円）

施設名	春里小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	塩 642-1	延床面積 (㎡)	5,381.60	当初建設費 (百万円)	758
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、体育館は、長寿命化を検討する。 ・校舎は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部				38		17				
設備	3			20		15				
空調		34 34								
内装				19		27				
自主点検										→
12条点検	対象外の施設									
劣化診断				1						中性化試験
										義務教育施設 (全体)の整備方針の策定 →
				余裕教室の有効利用検討 →						
工事費	0 3	34 34	0	78 0	0	59 0	0	0	0	0
工事費計	171 (実績費 37)									

校舎はH14年度に耐震改修に併せて大規模改修を行っているため、これを起点としたライフサイクル計画としている。H29年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H27年度・・・全教室に空調機器を新設した。

H29年度・・・校舎(中舎は築50年目、東舎は築40年目、西舎は築35年目)はH14年度の大規模改修から15年目の改修を予定。

H31年度・・・体育館は築30年目の大規模改修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

裏面あり

劣化診断・・・劣化診断をH29年度に実施予定、中性化試験をH34年度に予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

1億7,100万円を見込む。（実績3,700万円）

施設名	旭小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	大森 2078-3	延床面積 (㎡)	6,406.24	当初建設費 (百万円)	1,271
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎は、長寿命化を検討する。 ・南舎、体育館は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・南舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震	10 10									
外部			30 30		41			17		
設備	4				22			15		
空調		44 44								
内装					21			27		
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断					1					
									義務教育施設 (全体)の整備 方針の策定 →	
			余裕教室の有効利用検討 →							
工事費	10 14	44 44	30 30	0 0	85 0	0 0	0 0	59 0	0 0	0 0
工事費計	228 (実績費 88)									

南舎はH15年度に大規模改修を行っているため、これを起点としたライフサイクル計画とする。H30年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする

アクションプランの内容

H26年度・・・体育館の特定天井を撤去した。

H27年度・・・全教室に空調設備を新設した。

H28年度・・・体育館屋根改修工事を実施。

H30年度・・・北舎は築15年目の改修を予定。南舎(築41年目)はH15年度の大規模改修から15年目の改修を予定。

H33年度・・・体育館は築30年目の大規模改修を予定。

裏面あり

自主点検・・・毎年実施する。
12条点検・・・対象施設ではない。
劣化診断・・・H30年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

2億2,800万円を見込む。（8,800万円）

施設名	東明小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	久々利 1945	延床面積 (㎡)	6,868.55	当初建設費 (百万円)	1,193
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、プール付属棟は、長寿命化を検討する。 ・校舎、体育館は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合と、兼山小の集約先となりうることに留意する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。 配膳棟(H16築)は新しいため、ライフサイクルコスト縮減検討の対象とならない施設。				

ライフサイクル計画

	上段：計画 下段：実績 (百万円)									
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部				17		16	8			2
設備	2			15		9	4			
空調		48 48								
内装				26		8	4			2
自主点検	→									
12条点検	対象外の施設									
劣化診断				1						中性化試験
	義務教育施設(全体)の整備方針の策定 →									
	余裕教室の有効利用検討 →									
工事費	0 2	48 48	0	59 0	0 0	33 0	16 0	0 0	0 0	4 0
工事費計	160 (実績費 50)									

北舎西棟はH2年度に、北舎東棟はH16年度に大規模改修を行っているため、これを起点としたライフサイクル計画とする。H29年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H27年度・・・全教室に空調機器を新設した。

H29年度・・・体育館は築30年目の大規模改修を予定。

H31年度・・・配膳棟は築15年目の改修を予定。北舎東棟(築40年目)はH16年度の大規模改修から15年目の改修を予定。

H32年度・・・北舎西棟(築52年目)はH2年度の大規模改修から30年目の改修予定。

裏面あり

H35年度・・・プール棟は築30年目の大規模改修を予定。
自主点検・・・毎年実施する。
12条点検・・・対象施設ではない。
劣化診断・・・劣化診断をH29年度に実施予定。中性化試験をH35年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

兼山小の集約検討について

兼山小は築60年目の建替え時期を迎えるH52年度をもって集約廃止することを検討する。集約先は市内周辺校（広見小、東明小など）のほか、市外の小学校を含め広域的に検討を行う。集約の検討は廃止の10年前となるH42年度から行うこととする。

施設に要する維持修繕概算費

1億6,000万円を見込む。（実績5,000万円）

施設名	広見小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	広見 71-1	延床面積 (㎡)	6,301.92	当初建設費 (百万円)	792
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、プール付属棟は、長寿命化を検討する。 ・北舎、南舎東棟、配膳棟、体育館は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・北舎、南舎東棟の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合や、兼山小の集約先となりうることに留意する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築			5	5						
耐震			5							
外部		8					54			
設備	3	15					38			
空調		46								
内装		46					53			
自主点検			—————→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断					1					
									義務教育施設 (全体)の整備 方針の策定 —————→	
			余裕教室の有効利用検討 —————→							
工事費	0	46	5	5	1	0	145	0	0	0
	3	69	5	0	0	0	0	0	0	0
工事費計	202 (実績費 77)									

北舎、南舎東棟はH2年度に、配膳棟はH23年度に、体育館はH25年度に大規模改修を行っているため、これを起点とした改修計画としている。H30年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H27年度・・・全教室に空調機器を新設した。トイレの改修を行った。

H32年度・・・北舎、南舎東棟(いずれも築47年目)はH2年度の大規模改修から30年目の改修を予定。南舎西棟(築31年目)は大規模改修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

裏面あり

12条点検・・・対象施設ではない。
劣化診断・・・H30年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

兼山小の集約検討について

兼山小は築60年目の建替え時期を迎えるH52年度をもって集約廃止することを検討する。集約先は市内周辺校（広見小、東明小など）のほか、市外の小学校を含め広域的に検討を行う。集約の検討は廃止の10年前となるH42年度から行うこととする。

施設に要する維持修繕概算費

2億200万円を見込む。（実績7,700万円）

施設名	南帷子小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	--------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	東帷子 2231	延床面積 (㎡)	8,333.43	当初建設費 (百万円)	951
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input type="checkbox"/> 長寿命化 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・帷子小に集約することを検討する。 ・廃止する場合は、跡地の有効利用を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部			55 55	14			89			
設備	6		18 18	13			80			
空調		62 62								
内装				23			140			
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断						1				
									義務教育施設 (全体)の整備方針の策定 →	
				余裕教室の有効利用検討						→
工事費	0 6	62 62	73 73	50 0	0 0	1 0	309 0	0 0	0 0	0 0
工事費計	495 (実績費 141)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H31年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

- H27年度・・・全教室に空調設備を新設した。
- H28年度・・・体育館外部及び校舎トイレの大規模改修を実施。
- H29年度・・・体育館(築37年目)内部の大規模改修を予定。
- H32年度・・・校舎の大規模改修を予定。
- 自主点検・・・毎年実施する。
- 12条点検・・・対象施設ではない。

裏面あり

劣化診断・・・H31年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

帷子小への集約検討について

帷子小校舎はH50年度に南帷子小との集約を見込んだ規模で更新し、南帷子小が築60年となるH51年度に集約することを検討する。校舎更新の10年前にあたるH40年度から集約の検討に入る。

施設に要する維持修繕概算費

4億9,500万円を見込む。（実績費1億4,100万円）

施設名	桜ヶ丘小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	--------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	桜ヶ丘 5-55-2	延床面積 (㎡)	6,508.54	当初建設費 (百万円)	859
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、プール棟は長寿命化を検討する。 ・全ての施設について、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

	上段：計画 下段：実績 (百万円)									
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築					4					
耐震										
外部						67				
設備	15					61				
空調		47 47								
内装						107				
自主点検	→									
12条点検	対象外の施設									
劣化診断						1				
	義務教育施設 (全体) の整備方針の策定 →									
	余裕教室の有効利用検討 →									
工事費	0 15	47 47	0	0	4 0	236 0	0	0	0	0
工事費計	287 (実績費 62)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H31年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

- H26年度・・・トイレの改修を実施した。
- H27年度・・・全教室に空調設備を新設した。
- H30年度・・・プレハブ校舎解体予定。
- H31年度・・・南舎(築40年目)、北舎(築35年目)の大規模改修を予定。
- 自主点検・・・毎年実施する。

裏面あり

12条点検・・・対象施設ではない
劣化診断・・・H31年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

2億8,700万円を見込む。（実績6,200万円）

施設名	今渡北小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	--------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	今渡 1680	延床面積 (㎡)	8,593.78	当初建設費 (百万円)	1,410
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・北舎、南舎、プール棟は長寿命化を検討する。 ・北舎、南舎、プール棟、体育館は、児童数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・校舎の建替えにあたっては、キッズクラブとの複合を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。 東舎(H19年築)は新しいため、ライフサイクルコスト縮減検討の対象外施設である。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部				15					88	
設備	3			13					73	
空調		64 64								
内装				23					121	
自主点検			—————→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断							1			
設計委託			2 2							
									義務教育施設(全体)の整備方針の策定 —————→	
				余裕教室の有効利用検討 —————→						
工事費	0 3	64 64	2 2	51 0	0 0	0 0	1 0	0 0	282 0	0 0
工事費計	400 (実績費 69)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H32年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

- H27年度・・・全教室に空調設備を新設した。
- H29年度・・・体育館(築35年目)は、大規模改修を予定。

裏面あり

H34年度・・・東舎は築15年目の改修を予定。北舎、南舎、昇降口棟、プール付属棟（いずれも築40年目）は大規模改修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

劣化診断・・・H32年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

4億円を見込む。（実績6,900万円）

施設名	兼山小学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	兼山 1444-1	延床面積 (㎡)	3,607.00	当初建設費 (百万円)	512
施設の設置目的	小学校は、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すことを目的とする。(学校教育法第29条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input type="checkbox"/> 長寿命化 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・周辺の小学校に集約廃止することを検討する。 ・廃止する場合は、跡地の有効利用を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部										
設備										
空調		23 23								
内装										
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断						1				
									義務教育施設 (全体) の整備方針の策定 →	
工事費	0 0	23 23	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
工事費計	24 (実績費 23)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H31年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H27年度・・・全教室に空調設備を新設した。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

劣化診断・・・H31年度に実施予定。

裏面あり

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定 (H34～H38)

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

周辺小学校への集約検討について

兼山小は築60年目の建替え時期を迎えるH52年度をもって集約廃止することを検討する。集約先は市内周辺校（広見小、東明小など）のほか、市外の小学校を含め広域的に検討を行う。集約の検討は廃止の10年前となるH42年度から行うこととする。

施設に要する維持修繕概算費

2,400万円を見込む。（実績2,300万円）

施設名	蘇南中学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	今渡 112	延床面積 (㎡)	11,800.57	当初建設費 (百万円)	1,476
施設の設置目的	中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。(学校教育法第45条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・北舎、中舎、金工木工棟、体育館は、長寿命化と生徒数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。 南舎(H22年築)は新しいため、ライフサイクルコスト縮減検討の対象外施設である。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部	2				95					
設備	3				85					
空調	95									
	95									
内装					150					
自主点検			—————→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断						1				
									義務教育施設 (全体)の整備 方針の策定 —————→	
				余裕教室の有効利用検討 —————→						
工事費	95	0	0	0	330	1	0	0	0	0
	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事費計	426 (実績費 100)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。平成31年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H26年度・・・全教室に空調設備を新設した。

H30年度・・・北舎(築39年目)、昇降口棟(築38年目)、中舎(築38年目)、金工木工棟(築31年目)は大規模改修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

裏面あり

劣化診断・・・H31年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

4億2,600万円を見込む。（実績1億円）

施設名	中部中学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	広見 1086	延床面積 (㎡)	10,536.94	当初建設費 (百万円)	1,625
施設の設置目的	中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。(学校教育法第45条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・全ての施設について、長寿命化と生徒数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部										132
設備										119
空調	70 70									18
内装										209
自主点検	→									
12条点検	対象外の施設									
劣化診断							1			
										義務教育施設 (全体)の整備方針の策定 →
				余裕教室の有効利用検討						→
工事費	70 70	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	478 0
工事費計	549 (実績費 70)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H32年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H26年度・・・全教室に空調設備を新設した。

H35年度・・・校舎(築40年目)、体育館(築37年目)、プール附属棟及び金工木工棟(いずれも築35年目)は、大規模改修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

劣化診断・・・H32年度に実施予定。

裏面あり

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

5億4,900万円を見込む。（実績7,000万円）

施設名	西可児中学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	--------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	若葉台 7-1	延床面積 (㎡)	9,256.74	当初建設費 (百万円)	1,659
施設の設置目的	中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。(学校教育法第45条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input type="checkbox"/> 長寿命化 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・西可児中と広陵中をどちらかに集約することを検討する。 ・廃止する場合は、学校跡地の有効利用を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

	上段：計画 下段：実績 (百万円)									
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部	3						88		1	
設備							49			
空調	46 46									
内装							45		1	
自主点検	→									
12条点検	対象外の施設									
劣化診断						1				
	義務教育施設 (全体)の整備方針の策定 →									
	余裕教室の有効利用検討 →									
工事費	46 49	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	182 0	0 0	2 0	0 0
工事費計	231 (実績費 49)									

校舎、体育館、金工木工棟はH17に、プール付属棟は19年度に大規模改修をおこなっており、これを起点とした改修計画としている。H31年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H26年度・・・全教室に空調設備を新設した。

H32年度・・・南舎及び北舎西棟(いずれも築41年目)、北舎東棟(築34年目)、体育館及び金工木工棟(いずれも築40年目)は、H17年度の大規模改修から15年目の補修を予定。

H34年度・・・プール棟(築42年目)はH19年度の大規模改修から15年目の補修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

裏面あり

劣化診断・・・H31年度に実施予定。

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

広陵中との集約検討について

西可児中と広陵中をどちらかに集約することを検討する。ライフサイクル計画は広陵中を西可児中へ集約すると仮定して作成している。広陵中が築60年目を迎えるH57年度に集約をするものとしてH56年度に西可児中（築66年目）を更新することとする。その10年前のH46年度から集約の検討を始める。

施設に要する維持修繕概算費

2億3,100万円を見込む。（実績4,900万円）

施設名	東可児中学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	--------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	臯ヶ丘 4-71	延床面積 (m ²)	7,998.72	当初建設費 (百万円)	1,519
施設の設置目的	中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。(学校教育法第45条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input checked="" type="checkbox"/> 規模縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 複合 <input type="checkbox"/> 集約・廃止 <input type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・校舎、プール付属棟は、長寿命化を検討する。 ・全ての施設について、生徒数に見合う適正規模での建替えを検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震										
外部								100		
設備	3							91		
空調	35 35									
内装								158		
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断							1			
									義務教育施設 (全体)の整備方針の策定 →	
			余裕教室の有効利用検討 →							
工事費	35 38	0	0	0	0	0	1	349	0	0
工事費計	385 (実績費 38)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H32年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

H26年度・・・全教室に空調設備を新設した。

H33年度・・・校舎及び金工木工棟(いずれも築39年目)、体育館及びプール棟(いずれも築38年目)は大規模改修を予定。

自主点検・・・毎年実施する。

12条点検・・・対象施設ではない。

劣化診断・・・H32年度に実施予定。

裏面あり

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

施設に要する維持修繕概算費

3億8,500万円を見込む。（実績3,800万円）

施設名	広陵中学校	所管部署	教育委員会事務局 教育総務課
-----	-------	------	----------------

大分類	教育施設	中分類	義務教育施設	施設番号	
-----	------	-----	--------	------	--

施設情報

所在地	東帷子 593	延床面積 (㎡)	8,273.84	当初建設費 (百万円)	1,128
施設の設置目的	中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すことを目的とする。(学校教育法第45条)				
事務サービスの内容	学習指導要領に基づく教育課程の実施				
施設の方向性	<input type="checkbox"/> 長寿命化 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 複合 <input checked="" type="checkbox"/> 集約・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 譲渡・売却 <input type="checkbox"/> 現状規模 ・広陵中と西可児中をどちらかに集約することを検討する。 ・廃止する場合は、学校跡地の有効利用を検討する。 ・余裕教室は、教育的側面に配慮しつつ地域コミュニティへの開放を検討する。				

ライフサイクル計画

上段：計画 下段：実績 (百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
建築										
耐震	15 15									
外部										
設備	4									
空調	38 38									
内装										
自主点検			→							
12条点検	対象外の施設									
劣化診断								1		
									義務教育施設 (全体) の整備方針の策定 →	
				余裕教室の有効利用検討 →						
工事費	53 57	0	0	0	0	0	0	1	0	0
工事費計	54 (実績費 57)									

過去に起点となるような大規模改修を行っていないため、教育委員会が次回予定している大規模改修を起点とした計画としている。H33年度に予定している劣化診断においてライフサイクル計画を見直すこととする。

アクションプランの内容

- H26年度・・・全教室に空調設備を新設した。体育館の非構造部材の耐震化を行った。
- 自主点検・・・毎年実施する。
- 12条点検・・・対象施設ではない。
- 劣化診断・・・H33年度に実施予定。

裏面あり

義務教育施設の整備に関する基本方針の策定（H34～H38）

義務教育施設（全ての小中学校）の劣化診断をH29～33年度に行うことで、施設の劣化状況が明らかになるため、H34年度より義務教育施設の整備に関する基本方針を策定するものとする。最も古い校舎（春里小の中舎）が築60年目となるH39年度までに策定するものとする。

西可児中との集約検討について

西可児中と広陵中を一方に集約することを検討する。ライフサイクル計画は広陵中を西可児中へ集約すると仮定して作成している。広陵中が築60年目を迎えるH57年度に集約をするものとしてH56年度に西可児中（築66年目）を更新することとする。その10年前のH46年度から集約の検討を始める。

施設に要する維持修繕概算費

5,400万円を見込む。（実績5,700万円）

